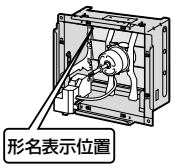
MITSUBISHI ELECTRIC

1409874HM3203

三菱 メタルコンパック 換気扇（台所用）

20cm・25cm・30cm

据付･取扱説明書



形名によって据付･取扱方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

スタンダードタイプ

形　名			シャッター方式	運転方式
EX-20LMP6	EX-25LMP6		連動式	引きひも
EX-20EMP6	EX-25EMP6	EX-30EMP6	電気式	埋込スイッチ
EX-30FMP6			連動式	引きひも･速調付
EX-20FM6-BL				

再生形フィルター付タイプ

形　名		シャッター方式	運転方式
EX-20LMP6-F	EX-25LMP6-F	連動式	引きひも
EX-20EMP6-F	EX-25EMP6-F	電気式	埋込スイッチ
EX-25EFM6		電気式	埋込スイッチ

工事店様

据付け終了後、正しい据付けができたかを確認してください。（5 項据付後の確認）参照
なお、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

お客さま自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

正しく安全に据付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお「安全のために必ず守ること」は据付作業上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

■新規据付時、壁穴工事はお買上げの販売店または専門の工事店様が実施してください。

■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

■EX-25EFM6 は市販の湯沸器連動スイッチを使用して、ガス湯沸器と連動することができます。
市販の湯沸器連動スイッチ・圧力スイッチなどが必要です。
工事についてはガス供給事業者（ガス会社）にご相談ください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.　No servicing is available outside of Japan.

優良住宅部品（BL）について……（EX-20FM6-BL のみ）

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングの BL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。

1. 安全のために必ず守ること

お客様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切しない 爆発・引火の原因。
禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない 火災や感電の原因。
禁止	●交流 100 V以外では使用しない 火災や感電の原因。
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。
分解禁止	●分解・改造はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。
ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグを抜差ししない 感電・けがの原因。
指示に従う	●お手入れの際、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。
プラグを抜く	●お手入れの際は、電源プラグを抜くか、分電盤ブレーカーを切る 感電・けがの原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体や部品の落下によりけがの原因。
禁止	●引きひもを急に引っぱったり、斜めに引っぱらない 引きひもが取れて調理器具等の高温部や炎に手などが触れ、火傷・けがの原因。
接触禁止	●運転中は、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
指示に従う	●羽根や部品の取付けは確実に行う 部品が落下し、けがをする原因。
指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。
指示に従う	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火の原因。
プラグを抜く	●長時間ご使用にならないときには、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

工事店様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●改造しない 火災・感電の原因。
指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に据付ける場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける 漏電した場合発火の原因。
指示に従う	●台所に据付ける場合は調理時に安全に操作できる位置（引きひもを確実にまっすぐ下に引ける位置）に据付ける 火傷・けがの原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●天井には据付けない 落下によりけがの原因。
禁止	●高温（室内温度 40℃以上）になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因。
浴室取付禁止	●浴室など湿気の多い場所や結露する場所には据付けない 感電・故障の原因。
指示に従う	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。
指示に従う	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
指示に従う	●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

お願い

■据付環境

- 下記の場所には据付けないでください。
  - 温泉地　・塩害地域　・薬品工場　・養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
  - 業務用厨房
- 雨水の直接かかる場所では雨水が浸入することがありますので、専用ウェザーカバーをご使用ください。

■換気扇の据付場所

- 天井・壁から 70 ㎜以上、コンロから 1 m以上、ガス湯沸器横 50 ㎝以上離れたところに据付けてください。
- 空気の流れが必要なため換気扇の反対側に出入口・窓などがあるところに据付けてください。
- カーテン・ひもなどが触れるおそれのない場所に据付けてください。
- ダクト接続はできません。

2. 壁穴工事

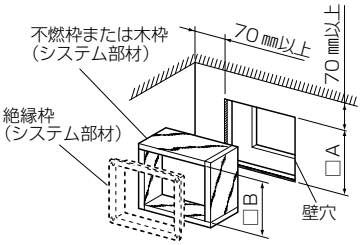
壁穴・木枠の寸法

壁穴の寸法は木枠（不燃枠）の厚さに応じ異なりますが板厚 20 ㎜の場合下表の寸法となります。

単位（㎜）

機　種	A	B
20 ㎝タイプ	290	250
25 ㎝タイプ	340	300
30 ㎝タイプ	390	350

※木枠の内寸法Bは、うちわボルト取付の場合 ± 5、木ネジ取付の場合 $^{+5}_{-0}$ の範囲内で製作してください。



※木枠の室内側の面が壁面と同一面になるように据付けてください。パネル落下の原因になります。

○木枠作りのお願い

板厚 20 ㎜以上で室外側下部に約 5° の傾斜をつける…雨水浸入防止
木枠内のり寸法が小さい木枠に据付けると本体が変形したり、シャッターが動作しないことがあります。

壁穴位置

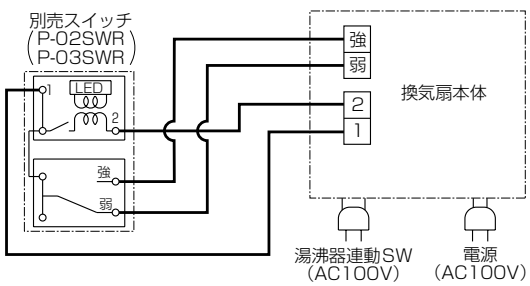
天井、壁から 70 ㎜以上離す。
必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。

3. 電気工事

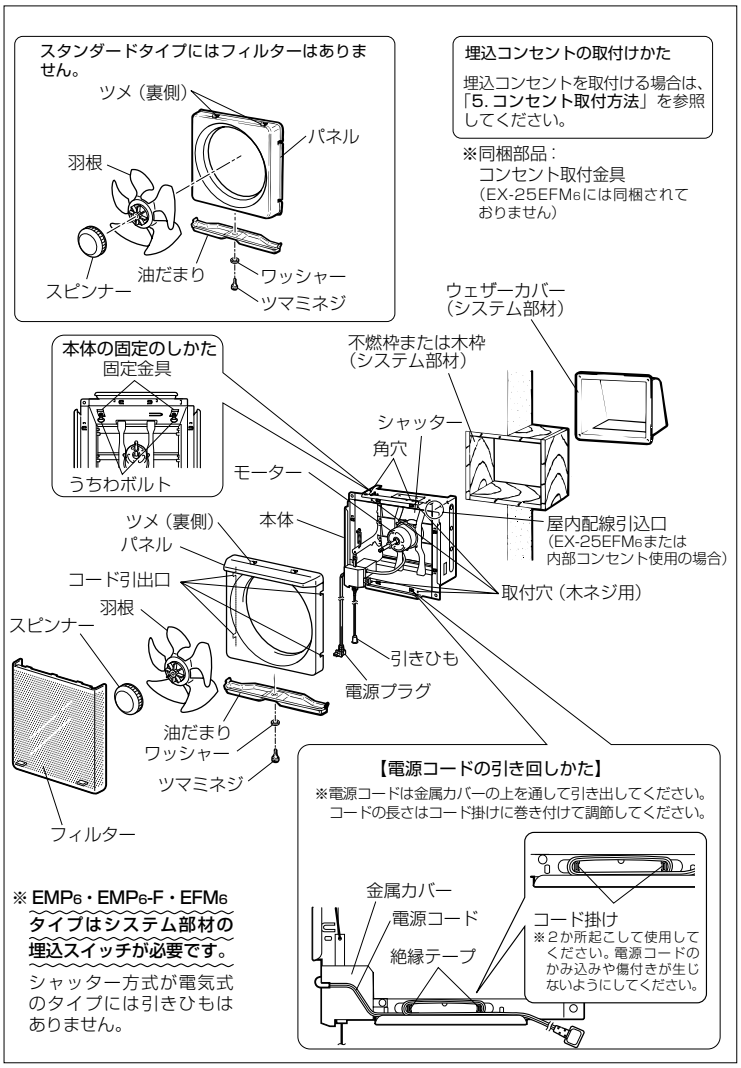
工事 ＼ タイプ	LMP6・FMP6・FM6-BL・LMP6-F	EMP6・EMP6-F・EFM6
コンセント工事 右記の①、②のいずれかを実施してください。	①専用コンセントを設ける場合、換気扇近くに設けてください。	
	②換気扇内部にコンセントを設ける場合（EX-25EFM6 を除く）、同梱のコンセント取付金具を使用します。 「5. コンセント取付方法」を参照してください。	
埋込スイッチ工事	本体に引きひもスイッチが付いていますので不要です。	本体にスイッチがないため操作しやすい場所に埋込スイッチ（システム部材）を設けてください。

■埋込スイッチ・埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C 8340 に規定の市販品を利用してください。

■ EX-25EFM6 結線図



4. 据付方法



1. フィルター・スピンナー・羽根・パネルをはずす

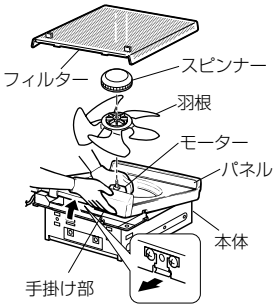
- フィルターは左右のツマミを持って軽く上側に押し、手前へ引く。
- パネルはスピンナー・羽根をはずしてからモーターを押さえてパネルの手掛け部を持上げてはずす。

⚠注意

- 据付けの際は手袋を着用する
けがの原因。

お願い

シャッターを開いたまま床などに置かないでください。
シャッターが変形し動作しないことがあります。



※スタンダードタイプにはフィルターはありません。

2. 本体を据付ける

- 「うちわボルト」２本で確実に固定する。または市販の木ネジで取付穴上（2）・下（2）計４か所固定する。
- 2.5m 以上の高さに据付ける場合は安全のためうちわボルトは使用せず、必ず市販の木ネジで取付穴上（2）・下（2）計４か所固定する。

お願い

- うちわボルトを使用しない場合は、うちわボルトおよび固定金具をはずしてください。
- 市販の木ネジは、めっき等を施した耐食性のある鉄製のネジを使用してください。

3. コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決める

- 左右の上下４か所から出せます。

4. パネル・羽根・スピンナーを取付ける

①パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛け取付ける。
②羽根をモーター軸に挿入する。
③スピンナーを「ユルム」の反対方向に回し、羽根に当たるまで締め付ける。

お願い

スピンナーは確実に締め付け、羽根のガタがないことを確認してください。

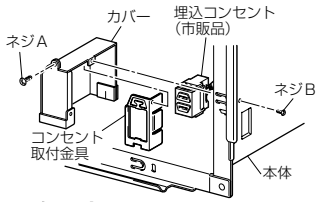
5. 油だまり・フィルターを取付ける

①油だまりのかたむきがないか確認して、ツマミネジを締め付け固定する。
②フィルターは上部を差込み、上に持上げた状態で下部をはめ込む。
（再生フィルター付機種のみ）

5. コンセント取付方法

- 本体外部のコンセントを使用する場合は、本項の作業は不要です。
- 本製品にコンセントは付属していません。市販の埋込コンセント２極（定格 125V15A）をご用意ください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 本体と木枠（建物開口）との間に５㎜のすき間が必要です。

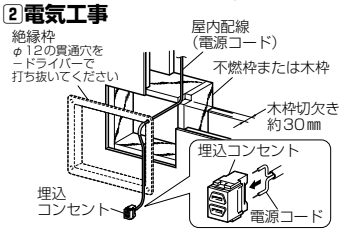
1 各部のなまえ



付属部品
ネジA（カバー固定用）……1本
ネジB（コンセント取付金具固定用）…1本

※市販の埋込コンセント２極（定格 125V15A）をご用意ください。
（適用電線：単線φ 1.6 またはφ 2，例：VVF）

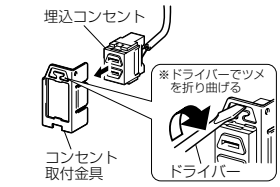
2 電気工事



屋内配線を図のように木枠（絶縁枠）を通して埋込コンセントに接続します。

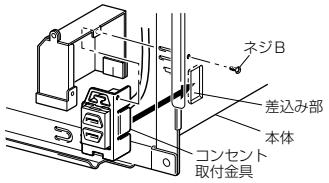
- 木枠右上部の 30 ㎜の切欠きには釘を打たないでください。
- 電源コードの皮むき寸法はコンセントの説明書に従ってください。

3 取付工事

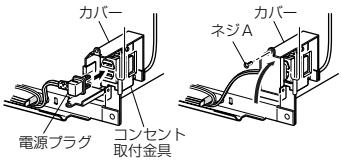


分電盤のブレーカーを切り、換気扇のスイッチが切れていることを確認して作業してください。

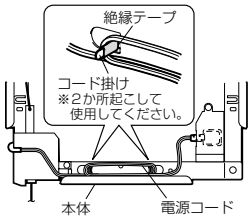
1. コンセントの取付け
コンセント取付金具にコンセントを図のように差込む。
－ドライバーを使ってツメを折り曲げ、コンセントを固定する。



2. 換気扇への固定
（換気扇が据付けられているときは、換気扇を引き出して作業してください。）
コンセント取付金具を換気扇内部右下の差込み部に取付けて固定する。



3. カバーの取付け
カバーをコンセント取付金具に被せ、本体側面から付属のネジBで固定する。
換気扇のプラグをコンセントに差込んでカバーを閉じ、ネジAで固定する。



4. 電源コードの長さを調節する
換気扇のコード掛けを起こして電源コードを巻き付ける。
- 電源コードを保護するために市販の絶縁テープを使用してください。
- 電源コードのたるみが羽根、パネルに当たらないようにしてください。

5. 換気扇の試運転
電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。

お願い

埋込コンセントは必ず組込んだ換気扇専用のコンセントとし、外部機器のコンセントとしては使用しないでください。

据付後の確認

- **据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。**
- **不具合があった場合は必ず直してください。**
（機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません）

	チェック項目	不具合の対策	チェック
試運転前	電源は 100V ですか？	100V に直します。（異電圧を印加すると製品が破損します）	
	本体の据付け強度は十分ですか？	うちわボルトまたは木ネジで確実に固定します。	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。	
	スピンナーが確実に取付けられていますか？	スピンナーを締め付け直します。	
試運転時	（引きひもスイッチタイプの場合）引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します。	
	（壁スイッチタイプの場合）スイッチと本体の動作は合っていますか？	結線図に従って結線を直します。	
	羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずして配線の処理、部品の取付けを直します。	
	シャッターが正常に作動していますか？	シャッターの変形、部品の取付け、木枠の内寸法を確認します。	

使用方法

■LMP6・LMP6-Fタイプ
引きひもを引くごとに**「入」⟷「切」**します。

■EMP6・EMP6-Fタイプ
壁スイッチで**「入」⟷「切」**します。

■FMP6・FM6-BLタイプ
引きひもを引くごとに**「強」→「弱」→「切」**に切換わります。

■EX-25EFM6タイプ
壁スイッチで**「入」⟷「切」**および**「強」⟷「弱」**します。
湯沸器を使用すると換気扇は必ず**「強」**運転になります。

お願い

■換気扇据付場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
■お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因）
■引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。斜めに引いたり急に力を加えますと、引きひもが取れたりスイッチが故障する原因になります。引きひもが取れた場合は、お買上げの販売店または工事店にお申しつけください。（引きひもスイッチタイプ）
■調理時には、高温になった鍋やフライパン、炎などに手や衣服が触れる場合があり危険ですので、引きひもの操作をしないでください。
■フード内に換気扇を据付けた場合、調理中は必ず換気扇を運転してください。
運転しないとフード内が高温になり、換気扇の寿命が短くなります。

お手入れのしかた

換気扇が汚れてきましたら約２～３か月に１度を目安として、次の順序で清掃してください。

⚠警告
- **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。**感電やけがの原因。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**感電やけがの原因。

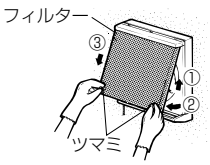
⚠注意
- **お手入れの際は手袋を着用する。**けがの原因。

フィルターのお手入れ（フィルター付タイプのみ）

1 フィルターをパネルよりはずす
ツマミを持ちいったん押上げ、手前に引張る。

2 フィルターはお湯を流しながらタワシなどで洗う

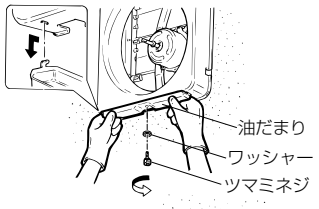
3 水分をふき取り乾燥させ取りはずしと逆の順序で組立て取付ける



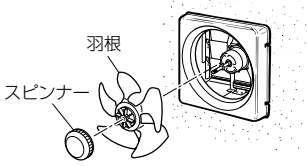
各部品のはずしかた

1 油だまり
- 下側にあるツマミネジをはずす。

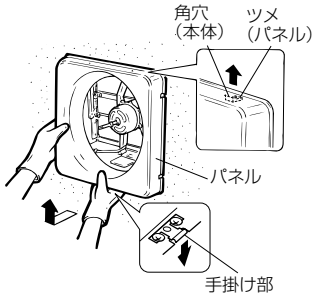
お願い
- **油だまりの両横を持って、傾けないようにしてはずしてください。**
油がこぼれる原因。



2 スピンナー・羽根
- 羽根を軽く持ってスピンナーを「ユルム」の方向に回す。
- 羽根を手前に引く。



3 パネル
- 手掛け部を手前に引いてはずし、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。

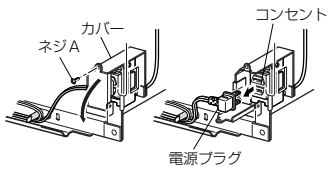


4 本体

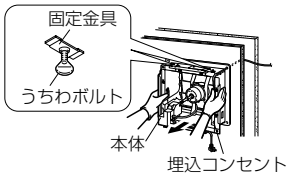
お願い
- **本体が木ネジで壁に固定されている場合は本体を壁からはずさないでください。**
壁側のネジ穴が破損し、製品落下の原因。
（EX-25EFM6は本体をはずすことはできません）

〈内部コンセントがある場合〉

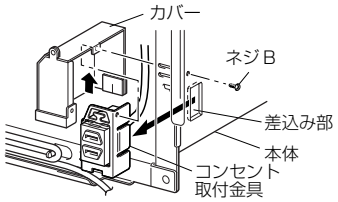
①換気扇のプラグを抜く
ネジAを取りはずし、カバーを開ける。
コンセントからプラグを抜く。



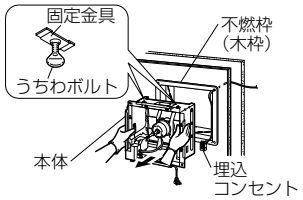
②本体を手前に４㎝程引き出す
「うちわボルト」をゆるめ、本体を手前に４㎝程引き出す。



③コンセント取付金具とカバーをはずす
本体側面のコンセント取付板の固定ネジBをはずす。
屋内配線コードを埋込コンセントに付けたまま、コンセント取付金具を手前に引いて本体からはずす。



④本体をはずす
不燃枠（木枠）から本体をはずす。



〈本体の近くにコンセントがある場合〉
- 電源プラグをコンセントから抜き、本体上部にある「うちわボルト」をゆるめて本体を不燃枠（木枠）からはずす。

清掃のしかた

中性洗剤 を使用して汚れを取る。

- パネル、油だまり、羽根、スピンナーは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗いよく乾燥させる。
- 本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い
- **洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。**
- **お手入れの際はモーターおよび充電部を濡らさないでください。**
- **シャッターを開いたまま床などに置かないでください。**

お手入れ後の組立てと確認

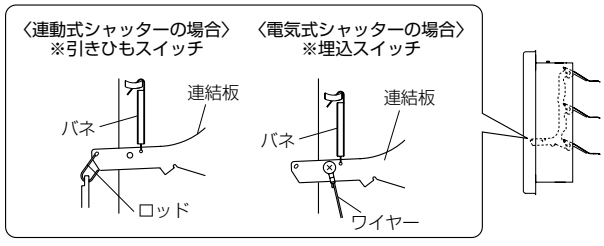
お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立てる。

■部品の落下や故障を防ぐため次の点検をしながら組立てる。

①埋込コンセントがコンセント取付金具に確実に取付けられているか？
（内部コンセントがある場合）
②電源コードに傷はないか？
③シャッターの開閉がスムーズにできるか？
④本体、羽根、スピンナー、パネル、油だまりが確実に取付けられているか？

お願い
- **うちわボルトに緩みがなく、本体が確実に固定されているか確認してください。**
- **パネルを軽く引張ってはずれないことを確認してください。**
- **油だまりは傾きがないか確認して、ツマミネジを締め付け固定する。**
- **スピンナーは確実に締め付け、羽根のガタがないことを確認してください。**
- **引きひもにほつれ・緩みなどの異常がないか確認してください。**
- **電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。**

⑤電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。



····· 故障かな？と思ったら ·····

下のような症状があれば点検してください。
点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　　因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
コントロールスイッチの操作と動作が違う（強運転はできるが、弱運転はできない）	誤結線です	販売店または工事店へ確認します
運転中に異常な音がする	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？	取付け直します
シャッターが正常に動作しない	本体が変形していませんか？（取付用うちわボルトの締めすぎ）	うちわボルトをゆるめ本体の変形を直します
	本体、シャッターが変形していませんか？	販売店または工事店へ確認します

····· アフターサービス ·····

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の取扱方法・施工方法についてのご案内　受付時間365日24時間

■ご相談対応
平日9:00～12:00　13:00～19:00（土・日・祝・当社休日以外）

●三菱電機換気送風機技術相談センター
全国どこからでもおかけいただけるフリーダイヤル
フリーダイヤル **0120-726471**（無料）

三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508－8666
岐阜県中津川市駒場町1番3号
FAX（0573）－66－5659（有料）
電話（0573）－66－8220（有料）

■上記時間帯以外のご相談（受付のみ）
●三菱電機お客さま相談センター
全国どこからでもおかけいただけるフリーコール
フリーコール **0120-139-365**（無料）
いつも サンキュー 365日

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX（03）3413-4049（有料）	（03）3414-9655（有料）

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）
インターネット **www.melsc.co.jp**
携帯電話サイト **fc8634@melsc.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX（03）3424-1115（有料）	（03）3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX（06）6454-3900（有料）	（06）6454-3901（有料）

空メールの送り先：またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
モーターは消耗部品です。

■優良住宅部品（BL）について……（EX-20FM6-BLのみ）

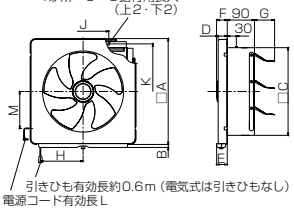
この換気扇は一般財団法人ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。
優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。
また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、3年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	羽根、本体、パネル （ただし、モーター等電動機構部品、スイッチを除く）

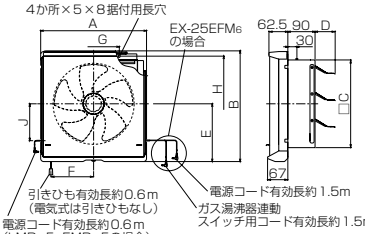
ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。
①住宅用途以外で使用した場合の不具合
②ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
③メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
④建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の不具合
⑤海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
⑥ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
⑦火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
⑧消耗品の消耗に起因する不具合
⑨指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

····· 外形寸法図 ·····

■スタンダードタイプ
〈LMP6・EMP6・FMP6・FM6-BL〉



■再生形フィルタータイプ
〈LMP6-F、EMP6-F、EFM6〉



■変化寸法表

〈スタンダードタイプ〉　単位（mm）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
20㎝タイプ	300	10	240	30	35	47	51	116	120	265	約0.6m※1	97
25㎝タイプ	350	10	290	30	35	36	67	141	170	315	約0.6m	122
30㎝タイプ	400	15	340	45	46	48	83	166	220	365	約1.0m	142

※1…EX-20FM6-BLは約1.0m

〈再生形フィルタータイプ〉　単位（mm）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
20㎝タイプ	300	316	240	51	166	116	120	265	97
25㎝タイプ	350	366	290	67	191	141	170	315	122

····· 仕　様 ·····

■スタンダードタイプ　電圧100V

形　名	ノッチ	消費電力（W）		風量（m³/h）		騒音（dB）		質量（kg）
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20LMP6	排	13	16	552	606	35.5	38	2.8
EX-25LMP6	排	21.5	25	888	918	36.5	37.5	3.2
EX-30FMP6	強排	30	35	1212	1206	38	37.5	4.0
	弱排	24	26	978	960	32	31.5	
EX-20EMP6	排	14	17	552	606	35.5	38	2.9
EX-25EMP6	排	22.5	26	888	918	36.5	37.5	3.3
EX-30EMP6	排	31	36	1212	1206	38	37.5	4.1
EX-20FM6-BL	排 強	21	23.5	600	702	37.5	41.5	2.8
	排 弱	13	15	486	522	32.5	33.5	

※測定方法はJIS C 9603による

■再生形フィルター付タイプ　電圧100V

形　名	ノッチ	消費電力（W）		風量（m³/h）		騒音（dB）		質量（kg）
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20LMP6-F	排	13.5	16.5	504	540	34.5	36.5	3.1
EX-25LMP6-F	排	21	24.5	738	750	35	35.5	3.6
EX-20EMP6-F	排	14.5	17.5	504	540	34.5	36.5	3.2
EX-25EMP6-F	排	22	25	738	750	35	35.5	3.7
EX-25EFM6	排 強	22	25	738	750	35	35.5	3.9
	排 弱	17	18	552	534	28	27.5	

※測定方法はJIS C 9603による

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

⚠
【製造年】本体に西暦４ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921－2による

環境条件	電　　圧	単相100V	
	周 波 数	50Hzおよび60Hz	
	温　　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書の「**仕様**」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a） 台　所　2410時間／年 居　室　2193時間／年	

〔設計上の標準使用期間とは〕

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（上表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921－2に基づいて上記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

▶ **使用中止**　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。	形　　名	
	お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名（住　所）（電話番号）	（　　）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号